

# 公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



## 特集 公民館全国セミナー参加レポート

- 4.5 **2** トピックス 本紙保存の電子データ化始まる
- 3** 視点 大切にしたい自然体験活動！
- 3** ひろば 人生って、楽しい学びの道
- 6** 実践記録シリーズ 青少年活動事業「ワクワク探検隊」
- 7** サークル交流 お腹の底から歌いましょう（魚沼市）／くれぐれも無理なく頑張る（関川村）
- 7** 素顔拝見 牧口 歩さん（柏崎市）／田中 賢さん（阿賀野市）
- 8** ネットワーク 「公民館海援隊」盛況に終わる

東京芸大生による  
スケッチ画講習会（出雲崎町）



### 表紙解説

昭和62年から毎年夏に当町を訪れ「妻入りの街並」のスケッチ画を残していつてくれる東京芸術大学の学生・大学院生から、町の小中学生を対象に「スケッチ画講習会」を開催していただきました。

プロの卵の技法を教わり仕上がった力作は、11月2・3日に開催した「生涯学習フェスティバル」に展示し、大変好評でした。

# 本紙保存の電子データ化始まる

本紙は昭和28年に創刊し、今号で697号になりました。6月には、めでたく「700号」になる予定です。創刊以来8ページの仕様が守られていて、分厚い保存用ファイルは12冊になっています。しかしながら、創刊当時のものは紙質が悪く、変色をしている上に手で触ると崩れ、そうな状態であることから、その永久保存の方法を数年来検討してきました。

「地域活動支援事業」の指定を受けたことから、その事業補助金を得て、保存作業を開始することになりました。作業はPDFファイルとして電子データ化し、パソコンからいつでも鮮明な状態で取り出せるようにします。初年度(平成22年度)は、創刊号から200号までをまとめ、三年後の平成24年度にはすべてを電子データとして保存する予定です。

このたび、新潟県公民館連合会が、全国公民館連合会から「地域活動支援事業」の指定を受けたこと、その事業補助金を得て、保存作業を開始することになりました。

作業はPDFファイルとして電子データ化し、パソコンからいつでも鮮明な状態で取り出せるようにします。初年度(平成22年度)は、創刊号から200号までをまとめ、三年後の平成24年度にはすべてを電子データとして保存する予定です。



月報 創刊号

全国に向けて新潟県の公民館活動を紹介します。いつでも、誰でも閲覧可能な資料として公開する予定です。

## 本紙が 優秀賞受賞

本年一月に行われた、「第1回全国都道府県公民館連合会広報紙コンクール」で、本紙が「優秀賞」を受賞しました。

審査は、最近発行された広報紙をもとに、(本紙は昨年の10月号と11月号を提出)構成・内容・写真・編集等の観点で行われました。

応募書類に、本紙の歴史的な積み重ねをアピールしたことも受賞の理由になったようです。

2月3日に「賞状」と「副賞」が事務局に届きました。副賞は5万円、本会の小山会長と相談し、公民館月報の

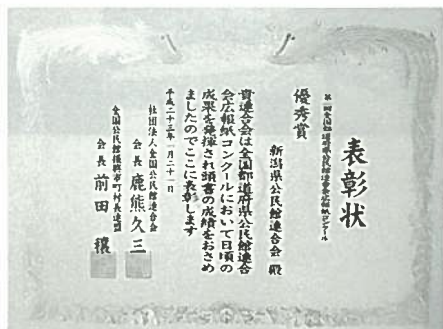
取材や事務に必要な次のものをいただきました。

- 一 デジタルカメラ一台
- 二 デジタルカメラ用メモリーカード一枚
- 三 事務用USBメモリー七本

### 副賞



### 表彰状



# 「新潟県公民館月報」 毎月15日発行 いつでも申込み受付中

公民館月報 定価1部150円 年間1,800円(いずれも送料含)

申込先 〒951-8053 新潟市中央区川端町2-9 県林業会館内 県公民館連合会事務局 TEL・FAX025-224-6073



# 視点

## 大切にしたい 自然体験活動！



県立青少年研修センター 社会教育主事 小宮山 護

近頃は、自然を身近に感じながら生活することが難しく、時代になりました。それは、生活様式の多様化やコミュニティの都市化など、家庭や地域を取り巻く環境が大きく変化したことにもよります。このような中で、子どもたちに自然体験活動を提供する社会教育施設の果たす役割は大変大きいと思います。

これらのことをふまえて、当センターでは、豊かな自然環境を持つ施設として、さまざまな自然体験活動を企画・実施しています。野外炊事、オリエンテーリング、ウォークラリー、キャンプファイヤーなどは人気のある体験活動です。また、最近では、漁船乗船やイカの一夜干しなどの漁業体験、サツマイモ掘りといった農業体験も地域の方々のご協力のもと実施しています。

家族・親子での参加も多く、自然の素晴らしさや季節行事を楽しんでもらっています。また、子どもたちの自主性や社会性を育むうえでも様々な活動に挑戦することが大いに役立っています。宿泊設備や屋内スポーツ施設も充実していますので、豊富な活動プログラムで友だちとの交流も増え、学校や家庭では得られない体験ができます。



私は自分が学生の頃は、学ぶ事がどういう事で、何のために学ぶのか？早く社会人として働くようになりたいと常々考えていました。

津南町社会教育委員 林 トシ子

## 人生って、楽しい学びの道

# ひろば



# H O T N E W S 掲 示 板

## 来年度の活動基本方針決定

2月22日(火)新潟市中央公民館で理事会と評議員会が開催され、本会の来年度活動基本方針等が決定しました。



主な議事と内容は次のとおりです。

- 1 平成23年度基本方針・重点目標・事業計画  
①上部組織との連携 ②研修の充実 ③情報提供事業拡大 ④本会運営体質強化 ⑤評価
- 2 平成23年度県大会・佐渡大会開催要項  
平成23年7月15日(金)両津文化会館
- 3 平成24年度県大会・糸魚川大会の確認  
現在、開催会場を調整中
- 4 平成25年度関プロ新潟大会開催  
平成25年8月25日(木)26日(金)  
南魚沼市民会館 実行委員会を30名で組織
- 5 関係機関、団体との連携と協力
- 6 その他

決算は、例年とほぼ同じ見込み。

次回会議は5月27日(金)新潟市中央公民館で。理事会・評議員会に続いて、第1回関プロ実行委員会が開催されます。

# セミナー参加レポート



魅力的な公民館報づくり

修が行われた。公民館報の批評や撮影法、取材の仕方などが講義され、多くの事例を紹介するとともに、参加者同士で取材をし、記事を作成する実習を行った。

その他懇親会や映画観覧による自由フォーラムなど、合宿での研修により全国の仲間と交流できた。「地域の問題を地域で解決していく」「地域の拠点となり、ひとつづくり、まちづくりを実践していく」「公民とはすすんで地域のために何かできることをする人のこと」「公民をつくるのが公民館」など、公民館職員一年生としてはとても面白く、興味深い体験であった。

## 「幸公民館は1人1人の愛で支えられている」



新潟市教育委員会中央公民館  
棚橋 祐介

1月26日～28日にかけての3日間、東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで、全国の公民館で働く職員が80人近く集まり、これから公民館をどのように考えたらいいのか、自分はいま何をすべきなのか、そのきっかけを見つけるため、「公民館全国セミナー」が開催されました。

この研修では、社会教育に携わる各分野の専門家を講師に迎え、首長部局への移管や指定管理者の問題、公民館を活性化させるためにはどうすればいいか等、様々な意見が飛び交いました。「もうなくてもいい公民館もかなりある。趣味教養で終わらせてる公民館が悪い。国や誰かが変えてくれるのを待ってる、自分から仕掛けるよ。」厳しい意見もありました。「公民館は講座をするところではない。地域についてみんなで考える場所だ。『ただ住んでいる』人を『自分も地域のために何かやってみたい』と思う人に変えることが公民館の役割だ。」そうです。そのとおりです。私もそう思っていました。

この研修をとおして実感した事、それは、地域の実状は違えど、全国に公民館を愛して止まない人たちが大勢いるということ。地域を元気にしたい、次の世代の子どもたちのために幸せな社会をつくりたい、大きくて漠然とはしていても、同じ目標に向かって今、この時、頑張っている仲間がいます。思えば自分が小さい頃、注射をされてイヤな思いをしたのも、ハチ公物語を見て泣いたのも、毎年スキー教室へ連れて行ってくれたのもみんな公民館でした。合併し機能が集約され、人材も予算も減らされ、それでも地域との関わりを繋がり方を薄くさせないために日々奮闘している仲間とともに、自分もガンバラなければ!と思いました。

最後に、記憶に残った参加者からの言葉を紹介します。「みなさん、その地域を愛していますか? 1人1人の悩みを、社会の悩みとして持っていきけるかが、私たちの力の見せどころなんです。」

上越市直江津地区公民館  
〒942-0061 上越市春日新田2-19-1  
(025) 543-7188

新潟市中央公民館  
〒951-8055 新潟市中央区礎町通3ノ町2086  
(025) 224-2088



# 特集



「セミナーに参加して良かった」

上越市直江津地区公民館  
高橋 理彦

平成23年1月26日から3日間、東京・代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで、第22回生涯学習推進研究協議会（公民館全国セミナー）が開かれた。北海道から沖縄まで公民館担当職員73人が参加し、パネルディスカッション・演習・講義が行われ、公民館のあり方、「熟議」の進め方、公民館の成り立ちや活動報告、広報紙の作成方法などを学んだ。

## 1日目・パネルディスカッション

「今後の公民館について考える」青森中央学院大学の高橋興教授をコーディネーターに、文科省生涯学習政策局 塩見みづ枝社会教育課長、愛媛県新居浜市教育委員会 関 福生社会教育課長、NPO法人 教育支援協会 吉田博彦代表理事、長野県松本市 矢久保学 政策課課長補佐が登壇し、それぞれの立場で活動事例や知見の紹介、問題提起などが行われた。「指定管理者」「県・首長部局との関わり」「公民館の評価」など公民館をめぐる問題について討議がなされた。参加者からの確かで熱心な質問もあり、活発な意見交換がなされた。「公民館は危機的状況」「首長よりも地域から厳しい評価をされている」「公民館の語り部をどれだけ作れるか」「たよりになる場所であれ」「20年後、どうなってんだ？」など、厳しい発言もあった。

## 2日目AM・演習「熟議」

「熟議」とは、「多くの当事者による『熟慮』と『討議』を重ねながら政策を形成していくこと」。国立教育政策研究所教育課程研究センター 神代浩センター長と(株)アソビジ 中川綾アソビコンサルタントの指導・助言のもと、「公民館をよりお

# 公民館全国

もしろく、より地域に根ざした場にするために、具体的に何ができるだろうか」を議題に演習を行った。参加者を10班に分け、神代氏による問題提起の後、「熟議」を体験し、短い時間の中で様々な取り組みが生まれていった。意思決定の基礎として取り組んでいきたいと感じた。



講義の様子

## 2日目PM・講義

### 「いまさら聞けない公民館の常識力養成講座」

宇都宮大学生涯学習教育研究センター 廣瀬隆人教授、北海道俱知安町社会教育課 矢吹俊男課長・公民館長、福井市社南公民館 真柄麻美公民館主事を講師に講座が開催された。「公民館・社会教育の謎・不思議」を廣瀬教授が他の講師や参加者に問いかけ、各地の事例や質問にも意見・講義をいただいた。「なぜロビーや調理室があるの?」「趣味教養講座は公益性が低いから自分でやれって言うけど本当?」などのテーマや「うちの公民館はロビーでマージャンOKです」「飲酒は?」「昔は結婚式したぞ!」など、事例からも問題提起がなされた。

## 3日目・講義と演習

### 「これからの広報戦略と魅力的な公民館報づくり」

元産経新聞ニュースサービス取締役 柴沼隆一 広報紙アドバイザーを講師に広報紙面づくりの研

# 実践記録

## 156

### シリーズ

## 青少年活動事業「ワクワク探検隊」

糸魚川市教育委員会 生涯学習課 主事 横澤 亮

て、公民館周辺の地域の探検です。1等を目指して走り回り、良い腹ごなしになりました。

### 1 事業のねらい

糸魚川市では、子ども達の「地域の豊かさ」に感謝する心を育むため、地元の自然や文化、人材に接する体験活動の「ワクワク探検隊」を年3回実施しています。

また、昨年度、「糸魚川ジオパーク」が世界ジオパークネットワークに日本で初めて認定されたことから、「ワクワク探検隊」でも市内に24か所あるジオサイトを生かした活動を進めています。

### 2 こんな活動をしました！

平成22年度は「ふるさと体験パート3～糸魚川の食を探ろう！～」をテーマに、次の活動を行いました。

#### (1)第1回ワクワク探検隊～海！～

日時：6月26日(土)

内容：魚さばき、浜汁・魚ハンバーグ調理、  
親不知旧道散策、自然史博物館見学

第1回目は、地元の漁協から協力をいただき、魚さばき体験をしました。子どもにとっては、魚に触れること自体が珍しく、大騒ぎです。自分で作った料理はとておいしいうで、魚嫌いの子どもも残さずに食べていました。

また、午後からは、親不知ジオサイトや博物館を見学し、糸魚川についての知識を深めました。



#### (2)第2回ワクワク探検隊～うどんづくりに挑戦！～

日時：10月16日(土)

内容：うどん作り、オリエンテーリング

第2回目は、西能生地区公民館を会場に、手打ちうどんに挑戦しました。うどん打ちは意外と簡単で、なおかつ楽しい作業です。子ども達も大喜びでした。また、うどんの出来栄は予想以上で、みんなでお腹いっぱいいただきました。

食後は会場を外に移し、オリエンテーリングをし



#### (3)第3回ワクワク探検隊～糸魚川“冬の食遊”～

日時：2月5日(土)

内容：雪遊び、餅つき体験、キャンドルづくり

第3回目は、雪深い根知地区で餅つきをしました。つき立ての餅は、雑煮でも、きな粉で食べてもおいしく、みんなが「我先に！」とおかわりをしていました。

また、午後からは使用済み油を使ったエコキャンドルを作りました。ここで作ったキャンドルは、後日行われた地元イベントの「根知谷にきらめくキャンドルロード」に出品し、会場を明るく灯しました。



### 3 成果と今後の活動について

事業後のアンケートでは「楽しい体験ができたし、友達がたくさんできた。糸魚川のことも知ることができた。」などの感想が寄せられました。

また、参加者の保護者からも「子どもが中学へ進学した際、ワクワク探検隊で知り合った人が同じクラスにいて、友達づくりがスムーズにできたようです。」という声があり、学区を越えた交流の成果が表れています。

今後も、子ども達がまだ知らない“ふるさと糸魚川”を探検し、地域に親しんでいけるような事業を展開していきたいです。



お腹の底から

歌いましょう！

童謡・唱歌を歌うシニア・ダリアの会

幼春は名のみの……。と兼し、そうに美声？が公民館のホールから聞えてきます。そう、今日は、「ダリアの会」の日です。外は降りしきる雪、雪、雪。でもこのホールの中は、大きな声で歌うシニアの熱気ではっかほか。ここは魚沼市堀之内の公民館です。歌声は、「童謡・唱歌を歌うシニア・ダリアの会」のメンバーです。50〜80歳代の会員約40人が、ユーモアをたっぷりブレンドした指導伴奏の新野先生のピアノを囲んで、月二回歌っています。昨年10月発足



したばかりのヨチヨチ歩きの会です。毎回試行錯誤をしながら、じっくり、丁寧に、理念を掲げて運営をし、続けることで健康増進につなげたいと思っています。

魚沼市 童謡・唱歌を歌うシニア・ダリアの会  
横山 陽子 記



くれぐれも

無理なく頑張る

手作りの会

公民館主催の手芸講座終了後、有志で作った「手作りの会」も早十年となりました。メンバーの半数が後期高齢者となりましたが、今年も新しくちよつと若い、針仕事の大好きな人が六人も入会し、十八人になりました。

手芸雑誌を読んで自分で作品を作るようになることが、最初の目的でした。その目的は大部分達成できたように思います。パッチワークや刺し子等の様々な手法で、たくさん作品を作りました。月二回の集まりは、手作りを楽しみながら、食べたり喋ったりと、気の合った仲間といつも賑やかです。手を動かすことは健康にもよく、仲間と楽しく過ごすこともでき、よいことづくめと思っています。活動は手芸を主に、料理も楽しんでいきます。村のイベントにも参加する予定で、文化祭に向けての作品作り、生涯学習広場でのエコクラフトのパン籠作り、草木染めを計画しています。くれぐれも無理なく頑張るをもつと、楽しく続けていきたいと思っています。



関川村 手作りの会代表 園部もと子 記

今年で水原公民館2年目を迎える田中さんは、若さあふれるパワーで公民館の窓口業務から講座や教室の開催、さらには公民館の前は阿賀野市立図書館に勤務していた実績をかわれ、国民読書年にあわせた事業の計画・運営もこなす生涯学習課のホープです。

一昨年結婚して「麻絢(まあや)ちゃん」をもうけ、育児や食事も協力して大変仲の良いご夫婦と聞いております？そのためか、子どもさんが生まれてからお腹

阿賀野市 水原公民館 主任 田中 賢さん



昨年4月から当課に配属となった「あゆみさん」を紹介します。当課は市民プラザの中がありますが、柏崎公民館・勤労青少年ホームも併設する複合施設ですので、兼任辞令をもらっています。

明るく、行動的で、最初は戸惑いもあったようですが、すぐ仕事にも慣れました。前職が、広報係のため「カメラアングル」にはちょっと厳しく、また「チラシ」作りはお手のものです。

柏崎市生涯学習課 主事 牧口 歩さん



素顔 拝見

まわりが気にかかり、他地区の公民館職員を巻き込んで昨年12月から「おとうさんのためのメタボ解消講座」を企画し、自らも参加者といっしょに学習しているところです。これからはいろいろな地域の課題解決に取り組み、活躍を期待するところです。

(阿賀野市生涯学習課係長 遠藤 勝 記)

講座のチラシの出来が余りに良かったためか、申込が募集定数をかなり超え、うれしいやら、困ったこともありました。いつの間にか柏崎公民館には無くてはならない存在になっています。これからも、新しい企画に挑戦して貰いたいと期待しています。

(柏崎市生涯学習課 係長 池田順一 記)



# Net work

ネットワーク

## 「公民館海援隊」盛況に終わる

新潟市北地区公民館が参加している文部科学省「公民館海援隊」プロジェクトのシンポジウムが2月19日(土)北地区文化会館で開催されました。会場には市民を中心に近隣から350人が集まりました。

文部科学副大臣の鈴木 寛氏が「地域主権と社会教育」と題して基調講演を行った後、次の方々にシンポジウムを行いました。



鈴木 寛氏 (文部科学副大臣)



神代 浩氏 (国立教育政策研究所長)



篠田 昭氏 (新潟市長)



吉田 博彦氏 (NPO教育支援協会代表理事)

講演、シンポジウムなどの詳細については、4月号の本紙の特集で紹介されます。

## 恵贈資料紹介

### 実証! 「地域力」醸成プログラム

「今、しまねの公民館がおもしろい!」と題して、島根県内の公民館活動の様子をまとめたDVDの寄贈がありました。

島根県では、当事業に、平成22年度予算で一千万円を投じました。DVDは、島根県教育委員会が企画し、BSS山陰放送が制作したもので、指定された35のモデル公民館のうち特徴的な活動事例とし

て11館の活動を紹介しています。「プレゼン大会」「日本語教室」「世代間交流」「中学生かるた取り」「親子体験活動」

島根県教育庁社会教育課  
島根県公民館連絡協議会

などが紹介されています。

問い合わせ

島根県教育庁社会教育課

島根県松江市殿町1番地

TEL 0852-22-5429

URL

http://www.pref.shimane.

lg.jp/shakakyoiku/



## 大切な子どもたちのために

日本の将来を担う大切な子どもたちや地域住民の安全を確保するため公立学校施設の耐震化を推進しています。

新潟県公立学校施設整備促進期成会  
会長(出雲崎町長) 小林 則 幸

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内  
TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

## あ と が き

事務局長のつがやき

先週はほかほか陽気で普通タイヤに交換しようかと思いましたが、新潟市内も今朝から吹雪き。換えないで良かったです。

月報の編集を始めて一年がた

ちました。記事の内容や編集レイアウトなどに厳しいご意見をいただきましたが、無事発行できましたことに御礼申し上げます。来年度もよろしくお願いたします。

(田原)